

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和4年9月27日(火) 午後7時～8時30分
場 所 上福岡二丁目集会所(上福岡二丁目町内会)
参加者数 43人



主な意見等

参加者 オミクロンに対応した新型コロナウイルスワクチンが、9月15日以降に接種が開始されると報道されていたので、8月中の接種予定を変更し、9月26日に接種しに行ったのですが、接種できたのは従来型のワクチンでした。オミクロンに対応したワクチンの接種開始日など、市ではあえて周知などはしていなかったのでしょうか。

市長 接種券の発注を我々も準備していたのですが、国が接種開始時期を一か月急に前倒ししたため、接種券を送る封筒や同封する案内などかまだ出来てこないというのが実態です。オミクロン対応のワクチンそのものについては9月19日から入り始めて、9月26日から接種を開始しています。

ワクチンの接種について国が示しているのは、接種できる方は、オミクロン対応のワクチンの予約開始日を待たずに、速やかに従来型のワクチンを打ってもらった方が良いということです。

今流行っているウイルスはB A. 5とテレビなどでよく言われていますが、オミクロン対応のワクチンはB A. 1が基礎となっています。よく専門家の方などが言うのは、今のオミクロン対応のワクチンは、感染予防には効果が薄いかもしれませんが、重症予防の効果が高いとのこと。

一方で、従来型のワクチンでも重症化予防には一定の効果があります。したがって、接種してから抗体ができるまでに2～3週間かかると言われておりますので、ワクチンの効果を途切れさせないという面でも、従来型のワクチンをすぐにでも接種していただきたいというのが厚生労働省の考えです。

今4回目接種を済ませていただいたことについては、恐らくオミクロン対応ではないからオミクロンに感染しやすくなってしまったとご心配されていると思いますが、重症化する人が今少ない状況になっているのはワクチンの効果の最たるものだと思っております。その辺を詳しくお伝えできなくて申し訳なかったと思います。

参加者 近隣トラブルの件です。トイレが壊れているのか、アパートの住人がペットボトルに尿を貯めていて、2階からジャーと捨てている人がいます。尿がゴミ集積所の辺りまで流れていて臭くて困っているのですが、アパートのオーナーや警察に相談してもダメで約2年間続いている状況です。警察も人に尿がかからない限りは特に動いてくれそうにもありません。環境課さんにも相談して随分お世話になっているのですが、何とか市で解決していただけないでしょうか。

市長 恐らく担当課も一生懸命やっているとは思いますが、その件については担当課長に詳しく話を聞いてみたいと思います。

参加者 学校のコロナ関係で確認したいことがあります。先日、我が家の一番下の子が発熱をしたので、朝一で検査に連れて行きました。発熱した子の検査結果が出るまでは、上にいる子たちを学校に行かせられないので自宅で待機させていたのですが、午前中に陰性の結果が出たため、上の子たちを午後から小学校と中学校に送り出そうと思って学校に電話をしたところ、中学校から「発熱したお子さんの熱が下がらない限りは、ご兄弟でも来られません。」と言われました。でも、小学校からは「結果が陰性だったら、ご兄弟の登校については親御さんが良いと思ったら登校させて良いです。」という話でした。そうすると市内の同じ公立学校なのになぜ対応が違うのか疑問が生じたので、学校が終わった夕方頃に再度確認してみたところ、先生が教育委員会まで確認していただいたみたいで、教育委員会の正式な対応として「兄弟が熱、体調不良があった場合は、その兄弟が元気になって登校されるまでは登校の許可はできません。」とい

う報告をいただきました。

ですが、子どもに話を聞くと、兄弟が発熱しても登校している友達もいるとの話があり、また、インフルエンザであれば兄弟の登校は認めているなど学校の対応がバラバラに感じます。

今や感染対策をしっかりしてイベントを開催し、経済を回そうとしているのにも関わらず、子ども達の教育現場だけ、コロナの流行初期の対応からアップデートされていないと感じます。

学校を休むということ自体が子ども達にとってはストレスですし、授業についていけなくなる恐れもあるので、検査を受けて陰性の結果があるのであれば、発熱していない兄弟の登校を認めてあげていただけないでしょうか。また、教育委員会の正式な回答には従いますが、学校ごとの対応がバラバラになると不公平が生じますので一律の対応をお願いしたいと思います。

市長

「熱が出た子の熱が下がるまでは、兄弟の登校を認めない。」ということについては、いまのお話を聞く限りは、対応として良くないと感じますが、陰性でも偽陰性という可能性もあり、陽性が出るまでウイルスが増殖していない可能性も考えられます。

これまで、1クラスで2人の感染が確認された場合に学級閉鎖をしています。コロナの対応については、実は来させなければ良かったという事例もあり、一定程度厳しく対応していかなければならないところもあります。理屈では発症から2日前くらいまでからうつし始めていると言われていたのですが、ごく稀に10日後に発症する人がいます。10日以上での発症というのは確認されていないので、4日間を加えた14日間の待機を以前は行っていました。ところが、最近は潜伏期間も短くなってきていて濃厚接触者の待機期間も減少して5日間とされています。

ただし、可能性を考えると一定程度厳しく対応しないといけないのですが、市内の小中学校の対応に統一感がなかったことについては、納得されない部分があったかと思います。おっしゃるとおり、対応には統一感を持たせなければいけないと思いますので、いただいたご意見として改めて教育委員会には伝えたいと思います。

参加者

陰性という結果が出ているのに、偽陰性の可能性があるということで登校を認めないとなると検査をする意味がないのではないのでしょうか。

市長 可能な限り調べていきたいと思いますというのが検査でありまして、医師会にも確認をしているのですが、明確に「こうです」と言い切れないと言われてしまっています。ただし、対応については、統一した対応を取るべきだなと私は認識しております。

参加者 市役所に行く途中のジョナサンとファミリーマートがある所の歩道に、車の侵入止め用のポールが何本も立っています。路面と似た灰色であるため、中学生がポールに気づかず自転車で激突して転ぶことがありました。転び方によっては大きなケガにも繋がりますので、目立つ色に塗り替えていただけないでしょうか。

市長 ご意見ありがとうございます。
自転車も車両ですので、厳密に言えば歩道を走ってはいけないのですが、それを理由にはできないので何とか改善するようにしたいと思います。

参加者 コロナが流行していますが、熱が出てしまった場合、まずはどうしたら良いでしょうか。

市長 まずは、発熱外来のある医療機関に連絡していただくようになります。埼玉県や市のホームページで医療機関のご案内をしておりますし、市報にも掲載していますので参考にいただければと思います。もし休日の場合でも、埼玉県のサポートセンターに問い合わせいただければ案内があると思います。

参加者 ふじみ野市に住み始めてから約12年が経ちます。高畑市長が当選してから買い物をする環境や文化施設の整備など住みやすい街が出来ていると感じています。しかしながら、なぜ進展がないのだろうかと思うのが、上福岡駅の踏切についてです。経済面だけではなく、火事や急病人があつた際などにも開かずの踏切が、かなり影響するのではないかと考えています。
アンダーパスとか、高架にするなど方法はあるかと思いますが、今後の方向性について教えていただけないでしょうか。

市長 ご指摘の踏切については、最悪の状態だと思っています。一番多い

時には上下線4回分の電車が立て続けに通過することがあり、長い時間、踏切が閉じたままになってしまいます。特に1分1秒を争うような救急車が、踏切で立ち往生しかねないことは大きな課題だと認識しております。実は13年前まではアンダーパスを作る計画がありました。

当時、やろうということを進めていただいた国会議員の方や当時の市長がいらっしゃったのですが、その時、国会議員の方が道路構造令まで見直してルールを変更してまで、アンダーパスを作ろうということがありました。ところが、踏切周辺の相当広い敷地を買収する必要があり、費用対効果を検証していった結果、非常に残念ですけど、中止という結論に至りました。

それからもっと20年、30年前であれば、本来であれば、あそこは県道ですから陸橋を作るとか、あのぐらいのスペースの中に、アンダーパスを造ることが可能であったのだらうなとも思うところがあります。

ただ過去ばかり振り返って何故その時にやらなかったんだという、今の時代の責任逃れになってしまうかもしれないですけど、残念ながらアンダーパスの計画は無くなってしまったというのが事実でございます。

踏切が閉まってしまうリスクはやはり大きいのですけれども、将来的に見てですね、いずれ人口減少と車文化の減少が見込まれる中で、特に若い子達が今免許の取得率が落ちているなど、トータルで見ると減少傾向にあると思います。当時アンダーパスを作ろうとした時で、確か60億円を超える計算でした。

駅西口の開発の際にできれば良かったのですが、今そういうものを作ろうとしたら、全然そのような額では収まらず、倍はかかってしまうぐらいの状況下で、今現在ではアンダーパスあるいは何らかのものを作ろうという計画は無いというのが正直な実態でございます。

一分一秒を争うってことになると、やっぱり問題はありますが、今ほとんどの救急車には救命救急士を乗せています。4回立て続けに電車が通る一番長い閉鎖の時間帯を考えても、それぞれの救急車に救急救命士を配属させていますので、救急車さえ到着し、救急隊員が初期の処置を施せば、一命は取り止めることは、その時の重症度にもよりますが、そのリスクは低く抑えることができると思います。そんなことはちょっと言い訳になっちゃうかもしれません

けど、残念ながら今のところアンダーパスや陸橋をつくる計画はないというのが実態です。

参加者 今日、会長を始め上福岡2丁目町内会の3人で防災訓練の準備会議に出てきました。会議に出席した方の中には、災害で家が壊れるなど困ったことは色々あるけれども、水道が使えなくなることが一番困るだろうという話がありました。その中で、何かあったら自衛隊に支援要請すれば良いじゃないかという話になったのですけれども、今年静岡の集中豪雨があった際に、県知事から自衛隊への災害派遣要請が遅れたということがテレビで流れていました。そういうことはないように願っておりますけれども、もしこの地域でそういう状況が起きた場合は、早めに県知事を通して支援要請などを出していただければとお願いしたいです。

市長 ありがとうございます。大事なことだと思います。ふじみ野市では災害のレベルによりますが、県知事あてに派遣要請をする手順になっています。ふじみ野市で毎年11月に行っている総合防災訓練では、毎回、大宮に駐屯している自衛隊と密接に連携して訓練にも参加いただいています。令和元年度の台風第19号の時も、被害が発生する前に自衛隊の隊員が市役所に常駐していました。いざ災害が起きる、あるいは起こりそうな時には、連絡を取り合っていた方が良く考えていますので、指摘いただいた点については、しっかりとやらせていただきたいと思います。

参加者 敬老祝い金の件ですけれども、コロナになる前は民生委員が個別に届けていました。ところが、コロナになってからは高齢福祉課から本人宛てに手紙が届きまして、そこに振込先を記入して振り込んでもらうという形に変わりました。そうしますと、中には手紙が何だかよく分からないという人もいて、もらい損ねている人がいらっしゃいます。高齢福祉課も個別に連絡をしているのですが、やはりスムーズではないところがあります。

例えば、市では介護保険料を取っていると思うので、法的には難しいかもしれませんがその口座に振り込むなど、もう少し親切な方法を検討いただけないでしょうか。

コロナが無くなるかというところ無理だと思うので、また民生委員がお届けする方法が一番スムーズで良いなと思っています。

市長 介護保険料は年金天引きの人が多いので、口座情報まで全て把握しているかというところがあるかもしれません。また、個人情報目的外利用という面もあるので、介護保険料の還付があった時にはこの口座に振り込んでくださいという通知を出していても、敬老祝い金については目的外利用に当たってしまう可能性があり、難しいかもしれません。

また、「コロナが無くなるか」ということですが、断定はできません。ですけれども、あるドクターは第7波まで来るとは思わなかったと言うぐらいコロナが続いている状況ですので、「コロナが無くならない」ということはないと思います。欧米諸国などもコロナが完全消滅はしてない状況ですけれども、WHOも終息に向かい始めたという言い方をしていますので、治療薬も承認されて一定程度の感染が続いていてもインフルエンザ並みになってくれば、私から言うのは大変恐縮ですが、民生委員さんの活動が元に戻ってお仕事が増えてしまうのですが、敬老祝い金を手渡していただくのが一番良いのではないかと考えています。

参加者 町内会長をしているのですが、本日、防災の会議、民生委員の会議、タウンミーティングと16時、18時、19時と会議が立て続けにありました。また、会議だけではなくて、スポーツフェスティバルや文化祭などの行事も重なりますと、どの会議や行事にも出席したいので困ってしまいます。役所は縦の繋がりはとても強いと感じるのですが、横の繋がりが弱いように感じるのですが、会議などを開く際には日程の調整をしていただけると大変助かります。

市長 そういった誤解を与えてしまった責任は全て私にあります。実際は役所も横の繋がりを持ってやっているのですが、様々な部署で会長さんが関わっていただく会議を開く時には、全てを調整しきれていないのは事実です。会議や行事の日程などについては、実行委員さんがおり、防災訓練であれば消防、警察、自衛隊などの関係機関との調整や、会場予約の都合などがあります。また、最近はコロナ対策を講じながらの開催にもなりますので、通常より大きな会場を押さえる必要があるなど、今まで以上に調整が困難になっている面もございます。ただ、会議が重なってしまうと、特に責任感が強い会長さんは出席できないじゃないかとか、あるいは一日中会議に出づ

っぱりじゃないかということがあると思います。自治組織を担当する協働推進課に確認し、なるべく役所内の調整を図らせていただき、重ならないよう努力したいと思います。

参加者 七夕まつりが中止となり、今年は飾り付けだけになったと思いますが、いつ飾ったのかよく分かりませんでした。長く続いてきた七夕まつりを途切れさせたくないの、せめて七夕コンクールのような飾り付けを競うようなものであれば、皆さん一生懸命やられて、見る方も楽しめたと思います。

中止は残念ですが、コロナ禍でも楽しめるように七夕まつりを続けていって欲しいなと思います。

市長 七夕まつりの開催や中止の判断については、実行委員さんによって判断をされています。もし開催となれば、こうして欲しいと市から言うことは出来るのですが、やらないと判断したことについては市からは一切口を出しておりません。

他市で開催をしているお祭りがある中で、実行委員会もやはり開催をしたかったと思います。ですが、ふじみ野市の七夕まつりという、模擬店だけではなく駅周辺の商店街が中心となって開催しておりますので、人が集まって非常に過密な状態を生み出してしまう恐れがあります。したがって、実行委員会の方では、もう一年間だけ我慢しようという苦渋の判断をされたそうです。

最近、四国の阿波踊りに参加した方がマスクなしで参加したために、感染が広がったと報道されています。確かに踊っている最中に感染が広まることもあると思いますが、その後の食事などが要因にもなっているのではないかと察するところです。

お祭りについてはこのような状況ですが、職員に言っていることですが、イベントについてはなるべく中止や延期ではなく、対策を講じた上で実施する方向で、ということをやっています。先ほどお話ししたとおり、地域の行事ができないのは、これから先心配なことだと思っています。ただし、やはり感染症ですから、もう良いでしょという訳ではなく、気をつけながら以前の日常に何とか戻していこうというのが大事だと思っています。

参加者 254バイパス沿いに物流センターができるということで、市長は先ほどメリットをお話しされていましたが、広さは何坪くらいなの

でしょうか。また、何社くらい入るのでしょうか。

市長 予定している地域の土地の面積が約17haですので約51,000坪です。これは土地の面積ですので、建物の面積はまた変わってきます。また、会社等については具体的にはまだ決まっていない状況です。

参加者 埼玉県には人口約730万人いますが県内には空港がありません。今は新幹線よりも安い格安航空もあり、これからは飛行機での移動も多くなると思います。しかしながら、成田空港の朝早い便に乗ろうとすると、上福岡駅の始発では間に合わない状況です。
若い人はこれから飛行機を沢山利用すると思いますので、市長には空港の誘致をお願いしたいと考えています。

市長 埼玉県内に空港をというご要望でございましたが、県の市長会でも今のところ空港の誘致や作ろうという話はございません。ただし、万が一の時に、よく埼玉県では災害時の初動の72時間とよく言われていますが、それを何とか地元で持ちこたえようと言っています。72時間経過した後、外部からの支援を受ける受援体制の構築を埼玉県が力強く進めております。

その時には当然のことながら、他所からの物資の供給については入間基地を使わせていただく予定ですし、東日本大震災の時に入間基地や岩槻インターに埼玉県内の物資を集結させてから外部への支援をしていたのと同様に、外部から支援を受けやすい受援体制をつくろうという取り組みが進んでいます。

こういった状況ですので、現時点では、朝早い飛行機に乗られる場合については、空港近くのホテルを利用していただくとか、現地に早く着きたいということであれば、寝台列車等の御利用もご検討いただければと思います。

参加者 踏切の話がありましたが、高畑市長の任期期間内での解決が難しいのであれば次の市長に努力をしていただくよう引き継いでいただきたいです。

市長 開かずの踏み切り対策についてですが、私でできる、できないという話よりも、次の市長さんにバトンタッチをしたとしても、次の市

長さんに開かずの踏切対策をいきなりやれというようなミッションは、私は出さないとします。

今の状況の中で、陸橋やアンダーパスを作るためには、先ほどお伝えした142億円ある基金の何倍かかけないと、周辺に住む市民の方に移動していただくことは叶わないと思います。

先ほどお話したとおり、合併の特例を使いながら本当にこれまで色んなことができました。合併の恩恵を使いながらこれだけのことをやって約142億円の貯金ができただけということは、ここで暮らす私たちはもちろん、私たちの子どもたちや孫たちにとっては、かなり希望の持てる状況だと思います。

ただし、これから次の世代が、人口減少の中で自分たちの世代より多い人数を支えていくというのは現実として残っています。今の生活を便利にしたいと誰もが思いますが、将来の子供たちに希望を持てる未来を作ってあげなければならないし、「僕たち私たちが大人になった時、何で一人で一人のお年寄りを支えるぐらいお金出さなきゃこの街はこの国は成り立たないのか」、それではいけないと思います。今を生きる私たちが少しでも自分たちの生活や周りの方々をよくしていきたいと思うのは当然のことだと思いますし、それが私たちに付託されている大事な部分だと思います。それと同じくらい、子供たちや孫たちに希望を持てる未来を作ってあげることも大事なことでと思っています。